

1日目 (2014/7/20)

歓迎会 (東大和市 中小企業大学校東京校)



▲ 8時間のバス移動で東大和市に到着



▲ 石巻市選手の入場



▲ 主催者代表挨拶
早道 東京都
オリンピック・
パラリンピック
準備局スポーツ
推進部長



▲ 実行委員長挨拶
谷村
東京都議会議員



▲ 歓迎挨拶
尾崎
東大和市長



▲ 招待チーム
代表挨拶
小山監督



▲ 招待チーム
選手代表挨拶
鈴木選手



▲ ホストファミリー
との対面



▶ 歓迎会。
みんなで記念写真

歓迎交流会



▲なごやかな歓迎交流会

2日目 (2014/7/21)

交流試合 (東大和市立第五小学校校庭)



▲アトランタ五輪銅メダリストの野島正弘氏《元 日本石油(現 JX-ENEOS)》が来賓として臨席。選手たちに激励のコメントを述べられた後、両チームの代表選手が打席に立ち特別始球式を行った



▲石巻市・中里ブルージャークス 小山監督と奮闘する選手たち



左：鎌田 東大和市選抜チーム監督／右：小山 中里ブルーシャークス監督▲



▲石巻市・中里ブルーシャークスの選手・監督・コーチ・スタッフ

第1試合	1	2	3	計
中里ブルーシャークス	2	1	3	6
東大和市ホストファミリー	1	0	0	1

第2試合	1	2	3	計
東大和市選抜	3	2	4	9
中里ブルーシャークス	3	1	1	5

プロ野球観戦 (所沢市西武ドーム 埼玉西武ライオンズ VS 東北楽天イーグルス)



▲ 8回表の東北楽天・西田の3ランで同点に。9回表に1点を加え、東北楽天が9-8で勝利。観戦した石巻市・東大和市の両チーム選手・スタッフは最後まで盛り上がりました

ホームステイ先で



▲ 出会ったその日のうちにうちとける選手たち。受け入れ側は、選手のきょうだいとともに、同じチームの選手や近所の友だちが泊まりにくるご家庭も。チームの枠を超えた絆ができました

3日目 (2014/7/22)

送別会 (東大和市中央公民館)



▲実行委員長挨拶 (谷村 東京都議会議員)



▲キャプテン栗野君と小山監督。お疲れさまでした



▲また会いたいね!



▶よい思い出が
できました



▼3日間、
お疲れさまでした



●宮城県石巻市「中里ブルーシャークス」ご招待の経緯

実行委員会より

「つなみ 被災地の子どもたちの作文集」(文藝春秋)の中に、石巻市の震災当時小学2年生の鈴木智幸君の『おとうさんにまけないせんしゅになりた』という作文を見つけました。その作文には次のことが書かれていました。智幸君のお父さまは、震災直後に智幸君らが避難した市営施設に駆け付けた後、沿岸部にあった事務所が気に入り「ちょっと会社に行ってくる」と出ていき、それが最後の姿となったこと。また、お父さまは野球のクラブチームの監督を務めていたこと。そして、智幸君の今の楽しみは野球がうまくなることについてでした。

野球の中にお父さまの姿を見ながら頑張っているであろう智幸君を招待したいと思い、石巻市の方に智幸君のいるチームを探してもらいました。智幸君は震災の時、被害の大きかった渡波小学校に通っていましたが、その後、ご家族で引っ越されており転居先がわかりませんでした。渡波小学校の子どもたちの情報から中里小学校に転校していることがわかったため、石巻市を訪ねご招待の話をさせていただいた結果、今年の交流事業の実現となりました。

全く知らない者同士の交流ですが、互いに少年野球を愛する子どもたちとそれを支える大人たちの交流は、短い時間でしたが心通うものになったと感じております。

●歓迎交流会での選手代表あいさつ 石巻市・中里ブルーシャークス 6年 鈴木智幸

こんにちは。中里ブルーシャークスの鈴木智幸です。

ぼくが野球を始めたのは1年生の時でした。そして、2年生の時に東日本大震災にあいました。とても、悲しい出来ごとでした。あれから3年が経ち少しずつ復興してきましたが、市内にはまだ多くの仮設校舎があります。ぼくたちの校庭にも湊中学校の仮設校舎があります。それからぼくたちは中学生と一緒に校庭を使うことになりました。もちろん、野球の練習時間も少なくなり、平日は1日、土・日は半日しかできなくなりました。でも、野球ができることに感謝し、この3日間でもっと野球がうまくなって帰りたいです。

楽しみにしていることは、西武ドームでのプロ野球観戦です。なぜなら、震災で亡くなったぼくのお父さんも社会人野球で西武ドームに一度来たことがあると聞いていたからです。その球場に行くことができ、とてもうれしく思います。今日から3日間、1年生から6年生まで総勢13人がお世話になりますので、どうぞよろしくをお願いします。



●感想文

今回は招待選手13人が6組に分かれ、9家庭に宿泊しました(3家庭=2泊。6家庭=1泊)。

招待チーム選手、ホストファミリーの選手、ホストファミリーの保護者の皆さまから感想文を寄せていただきましたので、次のページ以降、ホストファミリーごとに感想文を紹介させていただきます。

ホームステイ先：タイガーシャーク 豊田宅

東大和市での思い出

石巻市 6年 鈴木 智幸

7月20日から22日まで東京の東大和市に行きました。2日目の交流試合は1勝1敗でした。自分の苦手なところがわかったのでよかったです。その後、プロ野球観戦をしました。それが一番楽しかったです。プロのいろいろなプレーが見られたからです。交流試合でコントロールが悪いところがあったので、そこをがんばっていきたいです。

お世話になった豊田さん、ありがとうございました。



石巻市 5年 小野寺 飛来

「感謝」

7月20日から22日まで、ぼくたちは「スポーツ交流事業」という大きな行事に参加しました。

中でも一番の思い出はホームステイです。ぼくは智幸君と豊田さんの家にとまりました。豊田さん宅の選手はしゅうくんといいました。しゅうくんは、明るくてとてもおもしろい人でした。歓迎会のあと、しゅうくんといっしょにキャッチボールをしました。とてもコントロールが良くて、とても球が速かったです。

この行事でぼくが一番心に残ったのは「感謝」という言葉です。3日間、安全に楽しくくらすせたのは、豊田さんのおかげです。何日たった今でも豊田さんには感謝の気持ちでいっぱいです。今度は、石巻で交流試合をやれたらと夢見ています。

石巻の友との交流

東大和市 6年 豊田 愁

ぼくは、石巻の二人にあって楽しい3日間を過ごせましたが、それもすぐにおわってしまいざんねんです。もうちょっとだけでいいから、いっしょにいたかったです。ぼくは、心の中にこのことはしまっておいて、また会える時はもっといろいろなことをしようねと思いました。そして、ぼくが一番楽しかったことは、卓球とバッティング、あと、二人とすごした時間です。バッティングは100km/hの速く高い球を当てられるかやって、むずかしくて大笑いしたね。卓球では、どんな球でも打ったときはハプニングもあったけど最後は楽しく終わったね。家に帰ってきて、もうねようとしていてもさわがしくなり、1時になってやっとねたよね。でも、ぼくの体のぐあいがよくなかったからぼくが遊べない時でもみんなで楽しくしていて、こっちもうれしかった。でも、わかれの時はつらかったね。

また会える時があれば、また会いたいです。ブルーシャークスのみなさん、がんばってください。

スポーツ交流事業を終えて

東大和市 保護者 豊田 綾子

初めての受け入れで、当日までのスケジュールや何年生の受け入れをするのかなど何もわからなかったのが、正直とても不安でした。ですが、子供って本当にすごいですね。数時間で、今まで同じ時間を過ごしてきたかのように仲良くなって、翌日にはちょっとしたチームワークまで生まれていたのは本当に驚かされました。また、言葉の節々から子供の強い心と前に向かって進んでいる姿勢が感じられ、とても心を打たれ、勉強させられることがたくさんありました。今後もこのような事業を続けていただきたいし、逆にこちらから東北の地域活性の一環としてスポーツを通じて出向くのも、東京の子供たちが大切なことを学べるのではないかと思います。

この度はこのような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

ホームステイ先：四小イーグルス 外池宅

東京遠征の思い出

石巻市 6年 及川 貴裕

ぼくが東京に行って楽しかったのは交流試合です。東京の選手と試合ができたのがうれしかったです。

心に残ったことは東京の人の家にとまったことです。家の人がやさしくしてくれたし、友だちと一緒に過ごしてくれたことがうれしかったです。



東京遠征について

石巻市 6年 内海 大夢

7月20日から22日まで野球部みんなで東京に行きました。

1日目はお昼の3時に東京に着きました。それからホームステイさきのお宅に泊まりました。ぼくが泊まったホームステイの外池さん宅はとても良い家族で、ぼくと貴裕くんはたくさんもてなしを受けました。

2日目は東京の人たちと交流試合をしました。その日の夜に西武ドームに行って観戦しました。3日目はおわかれ会をしてもらいました。ありがとうございました。

一生忘れない仲間

東大和市 6年 外池 雄大

ぼくは、昨年から参加したいと思っていた交流会に、今年は参加することができました。

ぼくの家に来ると決まったとき、まだまだ先でその日が早く来ないかなと思っていましたが、その日になって「大丈夫かな」と心配になってきました。しかし、1日目の夜にはすっかりしゃべれるようになり、心配がこうふんに変わりました。

なんといっても一番楽しく、心に残ったのが2日目の交流試合です。どんなチームかわからなくて、ぼくの家に来た子はどんな野球をするのかと思いました。ぼくも、チームのキャプテンや始球式での打者、試合の先発をさせてもらって、自分でもびっくりするような大きな体験ができてうれしいです。今でも連絡をとっています。この交流会で出来た友達は、一生忘れない仲間です。

来年はさんかできないけど、続けてほしい交流会です。ぼくは、この交流を支えてくれた人に感謝します。ありがとうございました。

楽しかった3日間

東大和市 保護者 外池 裕行

被災地支援事業に参加させていただき、私たち家族にとって貴重な経験となりました。我が家にやってきた2人の6年生。息子と娘とはすぐに仲良しとなり、楽しい3日間を過ごしました。

息子の雄大にとって忘れられない出会いとなり、そして別れの時に流した涙は忘れられません。

これからもずっと交流が続くと良いなあと思います。関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

ホームステイ先：ジュニアフレンズ 小野宅

東京での思い出

石巻市 5年 小野寺 翔汰

今回は僕たちのチームを呼んでいただき、ありがとうございました。ぼくは東京遠征が決まってから、ずっと7月20日がくるのを楽しみにしていました。最初は、どういう人の家にホームステイをするのかワクワクしていました。それと、自己紹介の時に、きちんと話ができるかドキドキしていました。



東大和市に着き、1日、2日、3日と過ごし、いろいろな交流ができました。1日目は歓迎交流会をしてもらいました。2日目は交流試合と西武ドームに行きました。ちょうど楽天の試合で楽天が勝ったのがよかったです。3日目は送別会をしました。3日間の感想を言ったり色紙をもらったりしました。

東大和のみなさん、3日間ありがとうございました。

楽しかった東京

石巻市 4年 堺 蒼太郎

ぼくは、東京に行って楽しいことをいっぱいしました。その中でも特に楽しかったことが2つあります。

1つ目は、交流試合です。東京のチームと戦うことができ、とても良い思い出になりました。2つ目は、プロ野球観戦です。西武ライオンズと楽天イーグルスが戦うところを見られてよかったです。

楽しかった思い出

東大和市 5年 小野 航輝

野球の試合の後、家に帰ってきてから、翔汰さんと蒼太郎さんと一緒に野球盤をしましたが、普段やっている野球ではできない剛速球連投で遊んだのは楽しかったです。

西武第二球場ではお父さんも入って4人でキャッチボールをしました。ふかふかの芝生で気持ちよかったです。

野球観戦では東北楽天イーグルスが勝ったので、ブルーシャークスのみんなは喜んでいました。でも、ライオンズが負けてしまったのが残念でした。

布団の中で、夜遅くまでおしゃべりしていたのも楽しかったです。また会って話しをしたいです。

ホストファミリーを振り返って

東大和市 保護者 小野 雅史

昨年に引き続き、ホストファミリーの大役を引き受け、宮城県の子供たちと触れ合う機会が得られたことに感謝しております。大震災の影響により、未だ十分な練習時間と場所を得ることができない彼らが、この東大和の地で野球を楽しんでもらえたことに安堵しています。

二人のお客さまをお迎えしたことにより、息子は大変張り切り、わずか3日間ではありますが、自宅で合宿気分を堪能していました。

野球観戦前の西武第二球場でキャッチボール企画があったことから、強烈な西日の中、天然芝の上で悲鳴を上げるまで彼らと一緒に汗をかいたことは、いい思い出になりそうです。

ホームステイ先：ホワイトマナーズ 嶋崎宅（1泊目）・杉山宅（2泊目）

東京えんせいについて

石巻市 4年 内海 琉夢

7月20日に、東京のホームステイ先の人たちと合流し、ぼくと涼くんはしまぎきさん宅にとまりました。夜にはきもだめしをしました。こわかったけれどたのしかったです。その夜はねむれませんでした。2日目に試合をしました。ぼくはボールがきたときとれませんでした。3日目は、おわかれ会をしてもらいました。



ホームステイ

石巻市 4年 高橋 涼

7月20日から2泊3日間、東京のお家に泊まりました。最初に交流会をしました。そして、夕ごはんを食べました。琉夢君が3回おかわりをしてすごいと思いました。その夜は嶋崎さんの家に行きました。2日目は交流試合でした。ぼくはセカンドで出ました。1勝1敗でした。夜は西武ドームに行きました。西武ドームはコボスタ宮城より大きく感じました。その時は、楽天が勝ってよかったです。

ホームステイの感想

東大和市 5年 嶋崎 凷二

ぼくの家に来た選手が来ました。くる前はドキドキして、どんな子が来るのかとか、友だちになれるのかと心配だったけど、すぐに仲良くなれました。その時はホッとしました。そして、野球の話をついばいたり、きもだめしをしたりといろいろなことをしたけれど、一番良かったことはみんなと友だちになれたことです。また来年も会って野球の試合をして、今年は負けたので今年こそ勝って相手をおどろかせてやりたいです。

ホームステイをおえて

東大和市 5年 杉山 拓海

ぼくのうちにとまりに来た子はどちらも4年生でした。1人は内海琉夢くん、もう1人は高橋涼くんでした。ぼくが楽しかったことは中里ブルーシャークスのみなさんと交流試合ができたことです。なぜかという、遠くはなれた東北のチームがわざわざきてくれて試合ができたからです。それと、いつもは敵どうしの東大和の他のチームの選手たちと仲間になっていっしょに戦えたからです。そのあと、西武ドームについてプロ野球観戦をしました。西武対楽天はすごくわくわくする試合でした。ホームステイをおえて、ぼくは、この日のことを忘れないようにします。

ホストファミリーを経験して

東大和市 保護者 嶋崎 洋子

今年度、我が家は初めてホストファミリーとして、小学4年生の野球少年2名をお預かりすることができました。我が家には、中学2年生、小学5年生そして1歳の男の子がいます。そんな男の子ばかりのところには男の子たちがやってきたわけですから、案ずるまでもなくすぐに打ち解け、子供たちだけでたいへんに盛りあがりました。当日、彼らは8時間もバスに揺られて来たのですが、そんな旅の疲れなどみじんも感じさせず、翌日の交流試合でバットを握ると、目は輝き、活き活きとしていました。そんな2人の野球少年と親しくなることができ、たいへん嬉しく思いました。願わくはもっと長く滞在してもらえたら良かったと感じました。

ホストファミリーの経験

東大和市 保護者 杉山 須美枝

この夏は思い出深い夏になりました。石巻で野球をする少年たちを迎えてとても有意義な時間を過ごせました。歓迎レセプションでは石巻の子供たちの状況を知り涙し、そんな子供たちと交流戦をして石巻のチームの力強さ、応援し見守る大人の方たちの姿に親も子も大きな刺激を受けました。

その日の夜のプロ野球観戦ではプロのプレーに子供たちは心躍らせていました。我が子も初めて見るプロのプレーに夢中になっていました。初めて会って、会ったその時から友となり、相手を知りたいと思おう子供たちの少しでも手助けができれば幸せに思います。貴重な体験ありがとうございました。

ホームステイ先：ホワイトマナーズ 岩瀬宅（1泊目）・西川宅（2泊目）

東京遠征を終えて

石巻市 5年 遠藤 魁成

ぼくは東京遠征に行き、東大和のチームと戦いました。東大和のチームは迫力があって強いチームでした。

1日目は岩瀬さん宅、2日目は西川さん宅に泊まりました。2日目に西武ドームで観戦をしました。2泊3日という短い期間でいろいろな体験やいい思い出が出来ました。また、来年もあればいいなと思います。東京の皆さんには大変お世話になりました。楽しかったです。ありがとうございました。



東京の思い出

石巻市 3年 片倉 尚斗

ぼくの東京での思い出は2つあります。

1つ目はホームステイです。1日目は、岩瀬梨玖君の家に泊まりました。夜はみんなで笑って12時まで起きていました。2日目は、西川幸史朗君の家に泊まりました。そして、夜はきもだめしをしました。こわかったです。

2つ目は、東京のチームと2試合したことです。2試合ともヒットを打てませんでした。くやしかったです。

楽しかった思い出

東大和市 5年 岩瀬 梨玖

ぼくは、去年もホストファミリーをやらせてもらいました。そして、今年もホストファミリーでいっぱい楽しい思い出が作れました。

今回の交流会の中で一番楽しかったことは、2日目の西武ドームでみんなと観戦したことです。ぼくは、西武対楽天の試合はテレビでしか見たことがなかったので、ドームでみんなと観戦できて、良かったです。でも、楽天からメジャーに行った田中投手の試合が見たかったけれど見られなくて残念でした。でも、ホームステイの子、遠藤魁成君、片倉尚斗君と試合を見られたこと、そして二人と出会えたことなどスポーツ交流会が本当に楽しかったので、また来年もホストファミリーを受けたいと思います。魁成君、尚斗君、また会える日を楽しみにしています。

きんちょうした交流試合

東大和市 3年 西川 幸史朗

3日間で楽しかったことは、交流試合です。ぼくは2番ショートでした。はじめての2番だったのと、アナウンスで自分の名前が呼ばれたことで、とてもきんちょうしました。そのあと「7番セカンドかたくらなおとくん」とアナウンスが流れました。なおとくんには打たれるかもしれないと思いましたが、みのがし三振でした。その次はかいせい君のだせきで、ドキドキしました。また、来年もやりたいです。

Believe In The Power Of Sports!!

東大和市 保護者 岩瀬 真紀子

昨年に引き続き、今回もホストファミリーを引き受けさせていただきました。夏休みに入り、すぐに楽しい思い出が1つ出来ました。どんな子が我が家に来るのか、家族みんなで楽しみにしていました。我が家に来てくれる魁成君、尚斗君に歓迎交流会で会い、一緒に夕食を食べ始めた時はまだお互いの心の距離がありましたが、我が家に向かう車内ではずっと前から友達だったかのようにすっかりと打ち解けていました。家に着くと外がまだ明るかったので、皆で野球を始めました。その後、皆で楽しくお風呂に入り、夜はゲームをし、小腹が空いてラーメンを食べ、布団で遅くまでお喋りをしてと、いつまでも笑い声が聞こえていました。翌日も交流試合に、楽しみにしていた西武ドーム。お互いに楽しい思い出が出来た一日でした。2泊3日というとても短い日がとても大きな思い出となったと思います。

少年野球を通じた地域間交流についての感想

東大和市 保護者 西川 雅史

今回の交流事業でわが家はホストファミリーとして2人の選手をお迎えする機会に恵まれました。

実際に交流事業を終えて3日間を振り返ってみると、とても素敵な経験と体験ばかりが思い出されます。それらは、事前に想像していたものをはるかに超えたものでした。

こうした事業の教育効果の高さを実感しましたので、今後は、選手の保護者の負担を増やしてでも継続していただきたいと思いました。

ホームステイ先：十小上北台ストロングス 高橋宅（1泊目）・岩田宅（2泊目）

仲良くなれた東京遠征

石巻市 6年 栗野 元斗

7月20日から2泊3日間、東京の東大和に泊まりました。行ってはじめて歓迎交流会をしました。まだ全く知らない人たちと交流したのは緊張しました。その後、ホームステイ先に行きました。ホームステイ先では少しずつ話したり仲良くなれたので嬉しかったです。交流試合ではヒットも打てたし1勝できたのがよかったです。

楽しい3日間を過ごせました。今度は宮城に来てほしいです。



ホームステイ

石巻市 6年 高橋 輝

7月20日から東京の東大和市で2泊3日しました。はじめに歓迎交流会をしました。智幸君が選手の代表として話をしていた時はきんちょうしているのが伝わりました。となりの部屋で夕食を食べました。食べ終わってからマンションに行きました。家の中も広かったです。2日目の試合は1勝1敗でした。1勝できて嬉しかったです。プロ野球観戦では楽天が勝ったのがよかったです。今度は石巻に来てほしいです。

とうきょうえんせい

いしのまきし 1ねん なりさわ りょうや

とうきょうにしょうたいしてくれて、ありがとうございます。たくさんもだちができて、おうちにとまることができて、たのしかったです。また、いきたいです。

ホームステイ

東大和市 5年 高橋 風太

夏休みの7月20日、宮城県石巻市から6年2人、1年1人の3人の選手が来ました。夜は中小企業大学校で食べました。次の日は交流試合をしました。結果は、第1試合は負けたけれど楽しい試合でした。夕方は西武ドームでプロ野球を見ました。いい試合で楽しかったです。その後、岩田君の家でホームステイの子たちと泊まりました。

宮城の子たちと仲良くなり、宮城のおばあちゃんちに行ったときに、また会うことが出来ました。今度おばあちゃんちに行くときに、また会えたら嬉しいです。

楽しかったホームステイ

東大和市 5年 岩田 雅輝

6年生2人と1年生の3人がホームステイで家に来ました。いっしょにご飯を食べたり遊んだりしました。ホームステイに来たくれた人たちと試合もしました。みやぎ県からきた元斗くんがピッチャーの6年生で、輝くんも6年生で、龍くんは1年生。元斗くんの球はとともうちやすかったです。みやぎ県からホームステイに来た人たちとしあいをやって1回戦は負けて、2回戦は勝って引き分けでした。こちらのチームは、ふだんは敵ですが今回はみんないっしょのチームになってたたかい、ぼくはライトを守りました。ホームステイはとても楽しかったです。

ホームステイ受け入れの感想

東大和市 保護者 高橋 正

7月に、我が家では小学6年生の男の子2人と小学1年生の男の子の3人の少年野球球児を受け入れました。被災した宮城県石巻市と聞いて、ともかく楽しんでもらおうと心掛けました。我が家も中学1年生を筆頭に4人の男の子ですので、近所の子どもたちも遊びに来たことを含めてそれはそれは賑やかな時間を過ごしました。6年生の子が下の子の面倒をとともよくみてくれたこと、1年生の子は皆と笑顔で遊んでいたことなど、逆にこちらが楽しませていただきました。子どもたちの成長を思えば、少年野球をとおしてこれからもずっと続いてほしいと願ってやみません。

事務局、関係者の方々、手配や設定に奔走していただき、誠にありがとうございました。

ホームステイを終えて

東大和市 保護者 岩田 知子

今回、私は2日目のホームステイの受け入れをさせていただきました。2日目は交流試合や西武ドームでの観戦など、一日中たくさん活動した後でしたが、ブルーシャークスの子ともすっかり仲良くなって遊び、私もとても楽しい一日を過ごせました。3年前のあの震災の辛い経験を乗り越え、元気に野球を頑張っている姿や楽しそうにしている笑顔が印象的で、私の方が元気づけられるような思いでした。震災の情報が徐々に減少し、復興が進んでいますが、被災を受けて辛い思いをした方々がいることを忘れず、思い続けられるように、これからも復興支援事業を続けてほしいと思います。今回、ホームステイにかかわらせていただき、本当によかったです。ありがとうございました。